

第1章

被災前と被災後の市街地の状況



■被災直後の大船渡駅周辺地区

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするM9.0の巨大地震が発生し、大船渡市も震度6弱の地震に見舞われました。その約30分後に想像を絶する大津波が大船渡市の各地を飲み込んでいきました。

暮らしの場が、働く場が、憩いの場が…、「まち」を形づくるありとあらゆるものが壊滅しました。その時から、市民が「自分たちのまち」を取り戻すための「復興」に向けた10年を超える闘いが始まりました。

震災前

震災直後

盛町



■ガレキが散乱した県道(下館下地内)

大船渡町



■甚大な被害を受けた中心市街地

末崎町



■多くの家屋が流失した大田団地

赤崎町



■津波により一面がガレキと化した生形地内

三陸町綾里



■津波被害は広範囲に及んだ

三陸町越喜来



■津波は市役所三陸支所の2階部分にまで及んだ

三陸町吉浜



■防潮堤が流失した吉浜海岸